

水曜

随想

高知県四万十市立下田小学校・中学校の子どもたちの代表7人と一緒に国会要請しました。

市は住民合意のないまま中学校の統廃合を進め、旧校舎に看護学校を誘致すると国に大学設置許可を申請。認可もおりていないのに市費10億円、国補助金5億4千万円を投じて改修工事を進めまし

衆院四国ブロック比例候補 白川 よう子



た。

しかし昨年秋、市長は大学誘致断念を発表し、おわびもないまま今後の活用を2年もかけて検討委員会などで議論するとしています。来年春には中学校

校を残してほしい気持ちを言い続けています。おとながどうやって物事を決めていくのか、子どもなりに見てきました。私たち子どもは、自分たちができることを考え、伝えて

れました。大学誘致計画のために小・中合計41人の生徒が今も危険に脅かされています。私たちの弟、妹たちのいる下田保育所も低い位置にありとても不安

私たちはこの署名でたくさんの人に、子どもの本気の思いを知ってほしいです。そして、家の近くで安全な高台に、保育所を上げて小学生も中学生も行ける学校を造ってください

子どもたちが集めた署名

は統合される予定で2年もかける時間はありません。

きました。これまでも、中学生で署名を集め市長に提出し、県知

今回、子どもたちは、『高台移転』と『小中一貫校』に賛成する

切だから、安全な高台に上げてほしいです。どうか私たちの意見を受け止めて、子どもの『命』と『権利』を守ってください。よろしくお願います」

子どもたち代表の中学3年生がこう語りました。

子どもたちは高台の海拔30メートルほどの校舎から、津波浸水地域の海拔4

この署名は何人も

さあ、どうするおとな。

私の通う中学校は統合の計画が出てから6年。子どもも親も学

津波浸水地域の海拔4

自分で作り

な。